

# ニューズレター 経済教育学会

2018. Nov. No.30

会長挨拶・・・1 大会報告・・・2 学会賞・・・3 春季研究集会案内・・・4 理事会議事録・・・5～8

会長に裴光雄会員が選出されました。ご挨拶を掲載します。

## 会長就任のご挨拶

経済教育学会 会長裴光雄(大阪教育大学)

経済教育学会会員の皆様、第34回全国大会(会場:大阪教育大学天王寺キャンパス)での理事会において、この度会長に選出されました、裴光雄(ペクワンウン)と申します。この場をお借りし、就任のご挨拶を申し上げます。

自分のすべきこととして、当然のことですが、会長職を一所懸命に努めたいと思っております。自身に会長としての力量や能力が不足する分、周りで支えてくれる人たち、特に事務局の先生方とのコミュニケーションを密にとり、一つ一つの事業を誠実に励みます。

まず、韓国経済教育学会との国際学術交流を活性化させ、会員の皆様に関わってもらえる企画を考案・準備していければと思います。現在は交流協定が発効し、毎年2名の大会等への派遣が可能となっております。学術交流をさらにもう一步発展させる方途として、例えば、シンポジウムに止まらず、将来合同の全国大会をソウルで開催できれば、多くの会員の方々が国際学会の報告者として参加できます。旅費は国内の遠距離移動の場合よりも、ソウルへ行く方が安い場合もあるでしょう。

次に、水野勝之元会長、新里泰孝前会長が推進されてきた諸事業である、授業紹介、能動的学修研究会、地域研修会、ワーキングペーパーの開設、COREプロジェクトなどは、今後とも継続して発展できるように協力して行きます。

また、学会のさまざまな取り組みに尽力して下さっている理事の先生方が、今後とも一層学会の発展のために

頑張ってもらえる雰囲気をもった円滑な理事会運営に努めて参ります。

任期中に予定されている、明治大学での春季研究集会では八木尚志先生、名古屋経済大学での全国大会では、高橋勝也先生に大変お世話になります。開催校でお手伝い頂ける先生方にも宜しくお願ひ申し上げます。私も共に実り多き素晴らしい集会・大会となるよう、理事会の先生方と一緒に支えて行きます。

最後になりましたが、本学会が会員の皆様方の益々の研究のご発展に資する学会として、その役割を果たせるよう鋭意努力して行きたいと存じます。



## 第 34 回全国大会の報告

大会実行委員長 裴光雄

本大会は例年の大会と同様に 2 日間に亘って、2018 年 9 月 29 日(土)、30 日(日)の両日で行われるはずでした。しかし、台風 21 号の到来により、2 日目の分科会が中止となり、初日の日韓経済教育学会協定締結記念講演とシンポジウムのみで開催となりました。

まず、大会実行委員長である私が大会開会宣言を行った後、新里泰孝会長からのご挨拶がありました。次に、今大会は日本の経済教育学会(JSEE)と韓国経済教育学会(KEEA)との協定締結後の最初の合同行事でもあり、KEEA の会長からのご挨拶が金景模副会長によって代読されました。また、駐大阪大韓民国総領事館の呉泰奎総領事からご祝辞をいただきました。

日韓経済教育学会協定締結記念講演として、シンポジウムに先立って、早稲田大学の山岡道男先生から「日韓経済教育学会協定締結前史」という題名で、当日に配られた詳細なレジュメ資料を基にお話して頂きました。先生の KEEA との 20 数年という長きに及ぶ交流の積み重ねがあってこそ、協定締結に至ることが出来たと思います。また、先生にはご自身の活動だけではなく、協定締結に至る、これまでの JSEE と KEEA の交流全般の足跡に関しても、貴重な記録を資料として残して下さいました。感謝申し上げます。次世代の我々がしっかりと引き継いで参りたいと存じます。

シンポジウムでは、高山新先生の司会で、日韓1名ずつ基調講演者とコメンテータが登壇者となって進められました。最初に、韓国の慶尚大学教授でもある金景模先生が「韓国の社会科経済教育課程の変遷と 4 次産業革命時代の経済教育の方向」というタイトルでお話しました。結論として述べられた中で、「経済教育の目標は経済的市民性の養成である」、「新たな経済教育的価値では既存の競争と効率以外に公正、協同、連帯、公有等に対して関心が必要」という主張に特に興味を引かれました。

日本側の基調講演者として、京都経済短期大学前学長の岩田年浩先生が「発想が広がる経済教育の発問」という題名でお話しました。経済授業における発問の大切さについて、GDP の教授を具体的例として取り上げ、詳細に述べて頂きました。コメンテータとして、韓国側からは京仁教育大学の朴英錫先生、日本側からは宮城大学

の金子浩一先生に登壇いただき、日韓の学習指導要領と教育課程における経済教育のそれぞれの内容、相違点と共通点について明らかにしつつ、基調講演に対して有意義なコメントを行って下さいました。また、フロアーからも質問や有意義な意見が出ました。

台風の到来が事前に分かっていたにもかかわらず、キャンセルされずに来日して頂いた金景模先生、朴英錫先生と、素晴らしい通訳をして下さった高正子先生、梁京姫先生にお礼申し上げます。

昼の理事会とその後のシンポジウム進行中も翌日の大会運営をめぐって、早急に緊急危機管理対策会議を立ち上げ、見事な事態收拾と対応措置を執って下さった、新里会長と斉藤事務局長を始め、理事の先生方に厚くお礼申し上げます。

また、大会実行委員会委員の先生方に、感謝の言葉を送りたいと存じます。計4回に及ぶ大会実行委員会と前夜の会場準備をご苦労様でした。

当日は既に台風の接近により午前中から雨が降り、足元の悪い中でも、シンポジウムには 50 名という多くの会員の方々が参加してくれました。夜の懇親会は、古い建物の学生食堂ではありましたが、韓国からのゲスト 3 名を迎えて、こちらも 40 名を超える多くの方々に参加していただきました。韓国の焼酎がとても人気を博し、歓談も随分弾みました。

最後に、本大会のために尽力して下さいました、皆様方に感謝申し上げます。有難うございました。



ONE DAY CONFERENCE の開催決定

日時:2018 年 12 月 1 日(土)

場所:大阪教育大学天王寺キャンパス

中央館 315 教室(及び 316 教室) 詳細は HP で

## 第3回経済教育学会賞選考結果

審査委員：山根栄次(委員長)、浅野忠克、中谷武雄、齋藤哲哉(事務局長)

授賞の種類と授賞者：

**経済教育学会特別賞 長崎県立大学**

### 審査経過

2015-2016年度の学会賞推薦の受け付け開始：2016年11月1日。締め切りは2017年3月31日。

2017年3月30日付の推薦書が、松山大学・井草剛会員から2件提出されたが、何かの手違いで推薦書が審査委員会に届かず、3月31日に、委員会として今回は授賞者なしと結論。

2017年9月27日に、3月30日付で、2件の推薦書が提出されていたことが判明し、学会事務局から審査継続の依頼があり、委員会は審査継続を内定。このため、授賞をする年が1年延びることになった。

2018年2月7日、京都にて、委員全員参加で審査会を実施。審議の結果、古河幹夫被推薦人については、経済教育学会賞(教育実践部門)ではなく、長崎県立大学名で経済教育学会特別賞を授賞したいことを理事会に提案することを決定。もう1件の推薦、経済教育学会賞(研究部門)については、残念ながら十分な成果が出ているとまではいえないという理由で理事会に提案しないことを決定。

2018年3月24日、春季研究集会(松山大学)での拡大理事会で、委員長が長崎県立大学名で経済教育学会特別賞を授賞したい旨を提案。種々議論の上、提案通りに可決。

### 授賞理由

古河幹夫会員の所属する長崎県立大学は、地方における経済・経営系の学部として、経営学部と地域創造学部をもつが、学長も参加して、これらの学部教員を中心にして、地方大学の経済・経営系学部の教育・研究の創造・活性化を目指して、以下のような成果を出している。

- ①長崎県立大学産学連携チーム編『波佐見の挑戦—地域ブランドをめざして』、長崎新聞社、2011年9月、230頁
- ②長崎県立大学編集委員会編『長崎の陶磁器』、長崎文献社、2015年10月、173頁
- ③長崎県立大学学長プロジェクト編『波佐見焼ブランドの道程』、石風社、2016年3月、252頁
- ④ University of Nagasaki ed. *Nagasaki Ware* :

*Mikawachi, Hasami, Nagasaki Bunkensha, July, 2016*(『長崎の陶磁器』英語版)

- ⑤長崎県立大学編集委員会編『創る×まち 育てる×ひと 地域創造と大学』、長崎新聞社、2107年1月、278頁
- ⑥木村務・古河幹夫編『地方大学の挑戦：経済・経営系での教育実践』、石風社、2017年2月、278頁
- ⑦長崎県立大学編集委員会編『長崎の陶磁器』(中国語版)、長崎新聞社、2017年3月

これらの文献においては、長崎県の重要な地場産業である窯業(波佐見焼、三川内焼)の活性化とブランド化を目指して産学連携し、その成果を内外に発信した経緯と成果が記されている。これらは、地域経済の活性化に関して、地方の経済・経営系の大学・学部が地域貢献できる先進的な事例を示している。そして、この成果を、まちの創造、ひとの育成、地域の創造につなげるとともに、大学内における教育の改善、具体的には、実学的教育と教養教育の両立、学習観の転換(アクティブラーニングの実現)を導き、その成果を出している。これらの成果は、経済教育学会として表彰するに値するものである。



(左が新里泰孝前会長、右が古河幹夫会員)

学会運営と情報共有の円滑化のため、メールアドレスの登録をお願いしております。登録されておられない方は学会事務局のメールアドレス [office@ecoedu.jp](mailto:office@ecoedu.jp) に御知らせ願います。左のQRコードより、携帯メールから登録可能です。



## 2019年春季研究集会ご案内と報告者の募集

実行委員長 八木尚志(明治大学)

経済教育学会 2019年春季研究集会を以下のように開催しますので多数のご参加をよろしくお願いいたします。会場は御茶ノ水駅、地下鉄・新御茶ノ水駅、地下鉄・神保町駅から徒歩から5分~10分ほどです。

例年の春季研究集会では共通論題と自由論題で実施してまいりましたが、今回の春季研究集会は今年度の9月の大会の分科会報告が台風のため中止となったことを考慮して、会員の皆様からの報告希望を受け付けたのちに、プログラムを構成させていただきましたと考えております。報告希望が多い場合には選定をさせていただきますが、可能なかぎり対応させていただきたいと考えております。皆様からの報告希望をお待ちしております。

日時:2019年3月23日(土) 10:30~19:00(受付10:00より)

会場:明治大学駿河台校舎(会場の教室は学会ウェブサイトで2月に案内します)

アクセス: [https://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/suruga/access.html](https://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html)

キャンパスマップ: [https://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/suruga/campus.html](https://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/campus.html)

最寄駅: JR 中央線・総武線の御茶ノ水駅、東京メトロ丸ノ内線の御茶ノ水駅、東京メトロ千代田線の新御茶ノ水駅、都営地下鉄三田線・新宿線・東京メトロ半蔵門線の神保町駅から徒歩から5分から10分程度。

《プログラム予定》(発表申込件数などの関係で時間は前後する可能性があります)

理事会 11:30~12:40

研究集会 12:00~17:40

12:00 受付開始

13:00~15:00 自由論題

15:00~15:15 コーヒーブレイク

15:15~17:15 自由論題

17:20~17:40 理事会からのお知らせと意見交換

懇親会 18:00~20:00

\*研究集会プログラムは確定後の2月上旬に学会HPで公開し、学会メールマガジンでご案内いたします。

《研究発表申込み》 締切:2019年1月21日(月)必着

申込方法:学会HPからのオンライン申し込みをお願いします。必要事項はオンライン上に表示されます。

郵送の場合には、①報告者名②ご所属・職務③連絡先電話番号④メールアドレス⑤共通論題・自由論題の希望⑥発表テーマ⑦発表要旨(400字程度)を記入した申し込み用紙(書式自由)を封入の上、実行委員長の連絡先に「春季研究集会発表申込」と封筒の表に明記して送付ください。共同発表の際は、代表者の方を最初にご記入ください。代表者(発表者)は会員に限ります。申込者が多い場合には、発表テーマにより実行委員会にて選定します。

《研究集会・懇親会参加申込み》 締切:2019年3月8日(金) (ウェブサイトからのオンライン申し込みです)

・懇親会:3月23日(土)18:00-20:00 明治大学駿河台校舎リパティタワーの会場

・会費:5000円程度を予定(支払は当日)

《連絡先》 八木尚志 yagi8@meiji.ac.jp

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 研究棟704. 明治大学政治経済学部



## 経済教育学会 2018年7月理事会 議事録

開催日:7月14日

開催場所:大阪教育大学天王寺キャンパス

出席者:飯嶋香織、大坂洋、久井田直之、齋藤哲哉、塩田尚樹、関本祐希、高橋勝也、高山 新、竹田英司、徳丸夏歌、中里弘穂、新里泰孝、裴光雄、水野勝之、八木紀一郎、八木尚志

オブザーバー:岩田年浩、橋本勝、松野 至

定足数 35名、出席者 16名、委任状 15名

### ◆議長・書記選出◆

議長に新里会長を、書記に徳丸会員を選出した。

### ◆報告事項

#### 1. 会計監査について

本来は9月の大会時に行うべきものであるが、監査の橋本会員が領収書、残高を確認し、正常執行されていることを確認したことが報告された。中谷会員による監査は追って実施予定であることが報告された。

#### 2. 理事選挙結果について

6月30日に役員選挙の開票作業を行い、有効投票数390票より、20名を選出した。その内6名が辞退したため、得票数の多い順に6名を繰り上げ当選としたことが報告、承認された。

#### 3. 学会賞審査結果について

11月1日から3月31日までの受付期間に受付を行なったが、手違いがあって推薦書が期間内に届かなかった関係で、審査期間を延長した。2件の推薦があり、山根会員、浅野会員、中谷会員による審査が2月に京都で行われ、推薦2件のうち、長崎県立大学の受賞(受賞理由:地域創造学部が、地域経済連携プロジェクトを通じて地域貢献と経済教育と融合)を決定したことが報告された。

今回個人ではなく法人が対象となったことで、今後は法人の規模等の問題(巨大法人であった場合どうするのか、受取りは総長になるのか等)が発生する可能性もあり、学会賞の規定見直しも視野に入れて、引き続き検討が必要であることが確認された。

#### 4. サラトとの契約更新に関して

新里会長より、サラトから値上げ要求があったが、学会の事情を説明し、値上げを当分実施しないという配慮を受けたとの報告があった。

#### 5. 学会誌「経済教育」の発行について

高橋会員より、現在大会の投稿論文が執筆者校正段階にあり、8月中には返却を受けて、大会で見本を見せることができる見込みであること、大会の分科会報告を掲載する予定はないことが報告された。

#### 6. 学会誌投稿時の英文校閲について

高橋会員より、論文要旨のネイティブチェックを行わず投稿する会員が多いため、編集委員に負担がかかっており、必ず受けるよう執筆者に強く要請する予定であるとの報告があった。

### ◆審議事項

#### 1. ワーキングペーパー執筆要綱について

ワーキングペーパーの執筆要項について、提案審議された。分類については、「論考」「授業紹介」「教材」の3分類にとするが、英語分類については規定で明示せず、ホームページ上で括弧表記[ex.(Specific Study)(Case Report)(Teaching Material)]するなどして、柔軟に運用することが確認された。ワーキングペーパーについて字数制限は設けないが、データが余りに大きくなるといった場合は、データのリンク先を明示する等、その都度対応を協議することが確認された。

#### 2. 2018年春季研究集会について

八木会員より、明治大学の春季大会の準備状況(部屋の確保、懇親会予算案)について報告があり、日程案が協議された。他学会や学校行事との兼ね合いから、3月23日(土)を第一候補とすることが確認された。

#### 3. 第3回地域研修会について

水野会員より、第3回経済教育学会地域研修会が、宇佐見会員が運営する板垣記念館(緑陰講座)、明治大大学水野ゼミと共同開催することが報告、承認された。

#### 4. ホームページ更新について

大坂会員より、HP更新状況(旧ページから新ページへの移行、リンク等)について報告があり、年次大会終了後に新ページへ移行することが確認された。

#### 5. 次年度全国大会開催について(補充理事の承認)

高橋会員より、第35回大会が名古屋経済大学サテライトキャンパス(名古屋駅前)にて開催予定であることが確認された。主要学会(日本経済学会、金融学会、国際経済学会)の開催日程をなるべく避けて、9月または10月開催で日程調整することが確認された。

#### 6. 選挙結果を受けての補充理事の任命について

全国大会の新理事会の審議会に向けて、現時点の補充理事については、職務の継続性を重視する観点で、補充理事の

推薦を行うことが確認された。

#### 7. 次年度学会誌編集の体制について

塩田会員の多忙による学会誌編集委員辞退を受けて、中嶋会員(千葉経済大)の新編集委員への着任が提案、承認された。

#### 8. 学会賞規定の変更について

齋藤事務局長より、「35歳未満の学会員」という第3条の規定を、「41歳未満」に改定することが提起、承認された。同会員より推薦締め切り日が3月末日とする第7条の規定について、春季集会の前に審議することが実務上望ましいとの理由から、2月末に締め切りを変更することが提案され、承認された。「所定の推薦書」の様式について、「著書(論文)・教育実践活動・功労の概要と推薦理由」とすることが確認された。

また学会賞が学会員数と比較して相対的に多いため、推薦が僅少またはない状況が多く、「該当なし」が続いている状況について審議された。功労賞について理事会または事務局で内部推薦、若手賞について学会誌掲載論文から選考、などの案が検討され、継続審議することが確認された。また積極的な応募を促すため、推薦基準やガイドラインを適宜 News Letter に掲載することが確認された。

#### 9. 学会賞選考委員について

規定では理事3名を含む7名以内となっているが、理事が3名に達していないため、次回までに選出が必要であり、継続審議することが確認された。

#### 10. 全国大会(大阪教育大学)について

裴会員より、9月29日、30日に大阪教育大学で実施される全国大会のプログラムが報告、承認された。また各分科会について、司会(1.岩田会員、2.田中会員(要依頼)、3.高山会員、4.大坂会員、5.塩田会員、6.橋本会員(要依頼)、7.井草会員(要依頼)、8.中里会員、9.田村会員(要依頼)、10.八木会員、11.高橋会員)が決定された。事務局3名(新里会員、齋藤会員、久井田会員)が控え司会となることが確認された。

#### 11. 韓国経済教育学会との連携状況について

裴会員より、連携規定に基づき、韓国経済教育学会から全国大会に2名の派遣参加があることが報告された。また8月の韓国経済教育学会への参加について2名の応募があり、1名は資格不適合(非会員)であったため、内1名の岩田会員が派遣参加することが報告、承認された。韓国経済教育学会より、当学会は夏と冬に大会があるが、できれば冬の大会派遣参加は避けてメインの夏大会に参加して欲しいとの要望が報告された。

## 経済教育学会理事会議事録

日時:2018年9月29日11:00~13:00

於:大阪教育大学天王寺キャンパス(中央館4階415号室)

定足数 35名 委任状 8通

出席者:阿部信太郎、井草剛、大坂洋、金子浩一、川合宏之、久井田直之、齋藤哲哉、炭谷英一、高橋勝也、田中淳、徳丸夏歌、中里弘穂、新里泰孝、裴光雄、松尾匡、水野勝之、八木尚志、

山岡道男、山根栄次 20名

(オブザーバー 岩田年浩、中谷武雄、西尾圭一郎、橋本勝、松野至)

### 《報告事項》

#### 1. 大会実行委員長より

裴光雄大会実行委員長から開催のあいさつがあった。

#### 2. 8月の韓国経済教育学会夏季学術大会について

2名の派遣枠で岩田年浩会員を派遣、残りの1名の派遣枠が来年2月に残されたとの報告があった。

#### 3. 総会での承認依頼事項

(1) 決算案:総会資料には原本のコピー(押印あり)を掲載すべきではないかとの指摘があったが、次回以降にそのように対応することが確認され、今回は押印なしのものを配布することが承認された。

(2) 予算案:(1)に同じ

(3) 理事選挙結果:20名当選、6名辞退【総会資料 審議事項5. 参照】

(4) 会員の異動:正会員206名(-7名)、特別会員26名(+3名)、学生会員33名(+9名)【口頭で発表】:新人会員13名、退会者8名【総会資料 報告事項3. 参照】

#### 4. 2019年3月の春季研究集会について

八木尚志理事から3月23日(土)明治大学駿河台キャンパスで開催することが発表され、会場は未定で2月にHPで告知する旨が報告された。

#### 5. 2017年度会計監査について

会計監査の橋本勝会員と中谷武雄会員が理事会に出席し、橋本会員より問題ないとの報告があった。

#### 6. その他

特になし

### 《審議事項》

#### 1. 2017年決算案

質疑なしで承認

## 2. 2018年予算案(質疑あり、質疑のあと承認)

八木理事:予算案の承認が執行半年後はいかがか(回答)齋藤事務局長:本学会のやむを得ないがゆえの慣例であり、問題があれば補正予算で対処する

山根理事:学会賞の金額を増やせないか(回答)久井田会計:2年ごとの贈呈であり、今回は昨年受賞予定分を本年の予算に繰り越したため少なくなっている。

中里理事:運営経費が増えているが、どのように対応しているか(回答)久井田会計:メンテナンス費の抑制など、鋭意努力している

## 3. 補充理事について

学会運営の継続性を重視した人選で、阿部信太郎氏、川合宏之氏、関本祐希氏、高橋勝也氏、高山新氏、竹達健頭氏、徳丸夏歌氏、八木尚志氏、中嶋剛氏、松野至氏の10名を補充理事としたいとの説明があり、承認された。

## 4. 学会賞の募集について

(1) 昨年度の学会賞の贈呈が今年にずれ込んだが、予定通りに来年度も選考をするかが審議され、今年度に募集し、来年度選考・発表を行うことで承認された。

(2) 若手年齢制限を35歳未満から41歳未満へ変更することを確認された。

(3) 学会賞規定の改正は、総会の審議事項であることが確認された。

### (4) 質疑あり

八木尚志理事:毎年、選考できないか(回答)橋本勝会員:厳しい労力が求められることと応募自体それほど多くないので、難しい

## 5. その他

### (1) 次年度以降の会計監査

塩田尚樹氏と浅野忠克氏が推薦され、総会での承認を依頼された。

### (2) 次期会長の内定

新里会長より、次期会長として、裴光雄会員(大阪教育教育大)を推薦したいとの発言があり、裴会員は内定を了承した。

## 【2018年度 経済教育学会総会議事録】

日時:2018年9月29日17時~17時45分

場所:大阪教育大学天王寺キャンパス(西館1階ホール)

### ◆ 議長・書記選出 ◆

新里泰孝会員を選出。書記は金子浩一会員を選出。

### ◆ 審議事項 ◆

#### 1. 2017年-2018年会務報告(2017年全国大会以降)

2017年9月30日 学会誌『経済教育36号』発行

2017年11月1日 ニューズレター28号発行

2018年3月24日 春季研究集会(於 松山大学)

2018年5月10日 ニューズレター29号発行

2018年6月25日 理事会、第2回COREプロジェクト研究会(於 大阪教育大学)

2018年9月29日 理事会、総会、全国大会(1日目)(於 大阪教育大学)

2018年9月30日予定 全国大会(2日目)、理事会  
2. 2017年度決算

会計の久井田直之理事から決算案の説明があり、異議なく承認された。学会誌送付費については外部委託費に合算されている。

#### 3. 2017年度会計監査報告

中谷武雄会計監査から決算報告が適正になされたとの報告があった。

#### 4. 2018年度予算

会計の久井田直之理事から予算案の説明があり、異議なく承認された。

#### 5. 理事会選挙結果と次期理事の承認

齋藤哲哉事務局長より、選挙の結果を踏まえ20名の候補者が紹介された。辞退者が6名いたため、その分については繰り上げで選出されている。また、補充理事10名も加え、合計30名の理事の候補者が紹介された。翌30日の理事会で正式に承認される予定である。

#### 6. 会計監査の選出

会計の久井田直之理事から塩田尚樹会員と浅野忠克会員が提案され、承認された。

## ◆ 報告事項 ◆

### 1. 学会賞授与

山根栄次選考委員長より経済教育学特別賞が長崎県立大学に授賞されることが報告された。また、新里泰孝会長より古川幹夫会員(長崎県立大学)に賞状と楯が手渡された。

### 2. 会員の異動

2018年9月15日現在、会費の2年以上滞納者を除く会員数は、正会員206名、特別会員26名、学生会員33名の合計265名であることが報告された。この一年間の入会者、退会者の異動は総会資料の入会者、退会者一欄を参照のこと。

### 3. 2019年春季研究集会

大会実行委員長となる八木尚志会員から2019年3月23日(土)に明治大学駿河台キャンパスで春季研究集会が行われることが発表された。使用会場などの詳細な情報は、2月頃に確定し次第公表されることも報告された。

#### 4. 第35回全国大会(2019年)

名古屋経済大学の高橋勝也理事から、理事会の承認を得て、2019年9月または10月に名古屋経済大学で全国大会が開催されることが報告された。実行委員長が高橋勝也理事になることも同時に発表された。

#### 5. その他

2018年9月30日付の新会長として、裴光雄会員(大阪教育大学)が理事会により推薦され、内定したことが報告された。その後、裴会員より挨拶があった。また、台風の影響が懸念される翌9月30日の分科会の実施有無の判断について、学会ホームページおよびeメールにて全会員に緊急告知されたことが報告された。その他、編集委員より、翌日の分科会が実施されなかった場合でも、報告予定者に原稿の執筆依頼があることが報告された。

#### 臨時理事会

日時：2018年9月29日17時50分から55分

於：大阪教育大学天王寺キャンパス(西館1階ホール)

審議事項：会長の選出

理事の互選により、裴光雄氏を会長に選出した。

#### 会費納入のお願い

2018年度の年会費の納入をお願いいたします。2018年10月下旬の納入状況に基づいております。前年度(2017年度)以前の会費の納入がまだの方には複数年分の会費が振込用紙に記載されておりますので、ご注意をお願いいたします。

また、特別会員制度により、65歳以上の方は年会費が2,500円となります。該当する方は学会事務局へのメール([office@ecoedu.jp](mailto:office@ecoedu.jp))もしくは、事務委託先 株式会社サラトまで御連絡願います。下記の振込口座での振込みも可能です。

ゆうちょ銀行 口座番号:00920-3-252875

口座名義:経済教育学会

年会費:正会員5,000円、学生会員(大学院生を含む)2,000円、65歳以上の会員2,500円・経済教育学会は日本学術会議協会学術研究団体(詳細は<http://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.html>)です。学会費は所属先の校費にてお支払頂ける場合があります。

以下引用の規約にもとづき、過去の会費の未納分がある方は早急に会費を納入願っております。「2年間にわたり会費を納めないものは、原則として会員の資格を失う。学会誌送付時で年会費未納の会員については、その旨を伝えて、本会の出版物の配布を保留し、会費納入後に送付することとする」(会則4より)。(2016年3月春季理事会で改正)

#### 第四回学会賞について

12月上旬にメルマガとホームページでお知らせいたします。しばらくの間お待ちください。よろしくお願いいたします。

経済教育学会 ニューズレター 第30号

2018年11月15日発行

発行人 経済教育学会 会長 裴光雄

編集人 齋藤哲哉 久井田直之

発行所 日本大学経済学部 齋藤哲哉研究室

〒101-8360 東京都千代田区三崎町 1-3-2

電子メール [office@ecoedu.jp](mailto:office@ecoedu.jp)

学会費送金先 ゆうちょ銀行

振替口座番号 00920-3-252875

印刷所 株式会社 エムディーエス 03-5829-4960

#### <会員の異動>新入会員

2018年度新規入会会員(ニューズレター第29号以降)

正会員 上地 明德(一般社団法人 経済教育支援機構)

金森 敏(東京家政学院大学) 長谷川 岳雄(三重大学)

佐藤 央隆(名古屋市立はとり中学校) 松野 至(名古屋

経済大学市邨高等学校) 花田 達郎(名古屋経済大学高

蔵高等学校中学校) 竹澤 伸一(名古屋産業大学) 岩田

順敬(東京工業大学科学技術創成研究院)

学生会員 松浪 軌道(兵庫教育大学大学院連合学校教育

学研究科) 原田 凌弥(明治大学) 村田 奈津江(佛教

大学社会学研究科) 高柳 元(筑波大学) 一本木 蓮(明

治大学) 高橋 広宇(明治大学) 志田 義寧(法政大学大

学院政策創造研究科) 楚 天舒(千葉大学 理学部) 李

必恒(芝浦工業大学工学部情報工学科)

特別会員 氏兼 惟和(愛媛県金融広報委員会)